

【第2講】

キャリア教育におけるキャリアカウンセリング

1 キャリア教育におけるカウンセリングの位置付け

文部科学省（2004）の『キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書―児童生徒一人一人の勤労観・職業観を育てるために』（p. 29）では、「学校におけるキャリアカウンセリングは、子どもたち一人一人の生き方や進路、教科・科目等の選択に関する悩みや迷いなどを受け止め、自己の可能性や適性についての自覚を深めさせたり、適切な情報を提供したりしながら、子どもたちが自らの意志と責任で進路を選択することができるようにするための、個別またはグループ別に行う指導援助である」とされ、「キャリア発達を支援するためには、個別の指導・援助を適切に行うことが大切であり、特に、中学校、高等学校の段階では、一人一人に対するきめ細かな指導・援助を行うキャリアカウンセリングの充実は極めて重要である」として、キャリア教育においてキャリア発達を支援する個別の指導・援助としてのキャリアカウンセリングの意義が強調されている。

2 キャリアカウンセリングの計画と実施

野々村（2001）は、進路指導の中核をなす進路相談の計画立案にあたって明確にすべき視点を指摘しているが、これらはキャリア教育におけるキャリア発達を支援するキャリアカウンセリングの視点としても重要である（野々村，2001，p. 106-107. を一部修正）。

- ①相談の対象：個別相談のほかにグループ相談、三者相談、保護者のみを対象とする相談などを計画に組み入れる。
- ②相談の機会：すべての生徒を対象とする定期的な個別相談と併せて、随時の自発的相談に応えることができるように、日時、場所などを確保しておく。
- ③相談の場：相談室などが計画的に使用できるようにしておく。
- ④相談の内容：生徒の発達段階に対応してきめ細かな計画を立てるとともに、人格、適応、学業、家庭などに関する問題について、キャリア発達の観点から弾力的に取り扱うようにする。
- ⑤相談担当者：進路相談では、通常の場合、個々の生徒をもっともよく知っている学級やホームルーム担任教師があたるが、時には進路指導担当者や教科担任教師が、担任教師と十分な連携のうえでその任にあたる。すべての教師が協力できるような体制の組織づくりを確立しておくことが大切である。

キャリア教育はこれまでは中学生・高校生を中心に展開されてきた進路指導を継承しながらも、小学生をも対象にし、低学年からの計画的・継続的な取り組みを強調している。したがって、小学校におけるキャリア教育においてもキャリアカウンセリングはきわめて重要な位置を占めており、計画的・継続的・組織的な対応を図る必要があることを十分に認識しておかねばならない。

3 キャリアカウンセリングの実施

キャリアカウンセリングの担当者の配慮すべき事項やその形態については、野々村（2001）が進路指導における進路相談に関してまとめた内容をもとに、次のようにまとめることができる（野々村，2001，p. 107. を一部修正）。

①担当者の配慮すべき事項

キャリアカウンセリングは、教師と児童生徒との間の好ましい人間関係の中で進められてこそ効果が上がるものである。したがって、教師は個々の児童生徒との適切な人間関係の育成、確立に努めるとともに、次のような点に留意する必要がある。

- ・ 日常の教育活動を大切にする。
- ・ 自然な暖かい態度で児童生徒を迎え、児童生徒の自己指導を尊重する。
- ・ 児童生徒の発言を傾聴し、児童生徒の自己および進路についての見方に注目する。
- ・ 適切な時期に進路情報や個人資料および検査結果等を児童生徒に伝え、統合させる。
- ・ 面接の方法に習熟し、適当な方法で面接をまとめる。

②カウンセリングの種類・形態

- a. チャンス相談：相談担当教師が、児童生徒と接触する日常の機会を利用して相談を行う。
- b. 呼びかけ相談：児童生徒を相談室等へ呼んで相談を行う。
- c. 自発的相談 自発的に来談した児童生徒を対象として行う。自発的来談は、教師と児童生徒との信頼関係に依存するので、日常の教育活動がきわめて大切である。
- d. 定期相談 進路相談は、時には学年当初とか学年末に一定の期間を利用して、学級・ホームルームの全員を対象に順に行うことも必要であり、これを定期相談と呼ぶ。
- e. グループ相談 個々の児童生徒の進路に対する見方や考え方は学級・ホームルームや学校の児童生徒集団の傾向に影響されることもあるので、進路の問題について数名のグループごとの討議を行い、学級・ホームルーム全体の進路に関する関心を高めたり、その見方や考え方を向上させる目的でグループ相談が行われる。

【引用文献】

- 文部科学省 2004 キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書－児童生徒一人一人の勤労観・職業観を育てるために
- 野々村新 2001 進路相談の計画と実施 吉田辰雄（編集代表） 21 世紀の進路指導事典
ブレーン出版 Pp.106-107.

以上